



KANAGAWA

殿町と湘南アイパークの 拠点間連携の方向性

2018年10月12日

神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進統括官
金井 信高

〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1

Tel: 045-285-0187

1978年に神奈川を研究開発のメッカにする頭脳センター構想
 平成当初にアジア初のインキュベート施設のかながわサイエンスパークの新設
 県立大学院構想に基づく神奈川科学技術アカデミー(KAST)の設立
 ※期間限定の研究プロジェクトを運営(40件程度の実績)、特許等の高い実施率

かながわサイエンスパーク (KSP)



再生・細胞医療の産業化を促進
 ライフイノベーションセンター(LIC)
 (4階に株ケイエスピーが入居、
 KISTECプロジェクトの実施)



H28年4月供用開始 延床16,000㎡
 県が土地を事業者は無償貸与し
 公民協働事業で展開

科学技術政策の重点分野：ヘルケア・ニューフロントの推進

- 2013年、KAST (現KISTEC) の殿町LiSE進出
- 2016年、ライフイノベーションセンターの開所
- 2017年、KISTEC誕生 (KASTと産技センター統合)
- 2019年、県立保健福祉大学のヘルスイノベーション研究科を殿町に設置予定

～科学技術政策・産業政策・保健医療政策を融合した横断的組織で強力に推進～

2つのアプローチを融合

最先端医療・
最新技術の追求

未病の改善

iPS細胞研究



生活支援
ロボット



マイME-
BYOカルテ



医食農同源



運動習慣奨励



等

個別化医療の実現

ライフスタイルの見直し



未病・・・

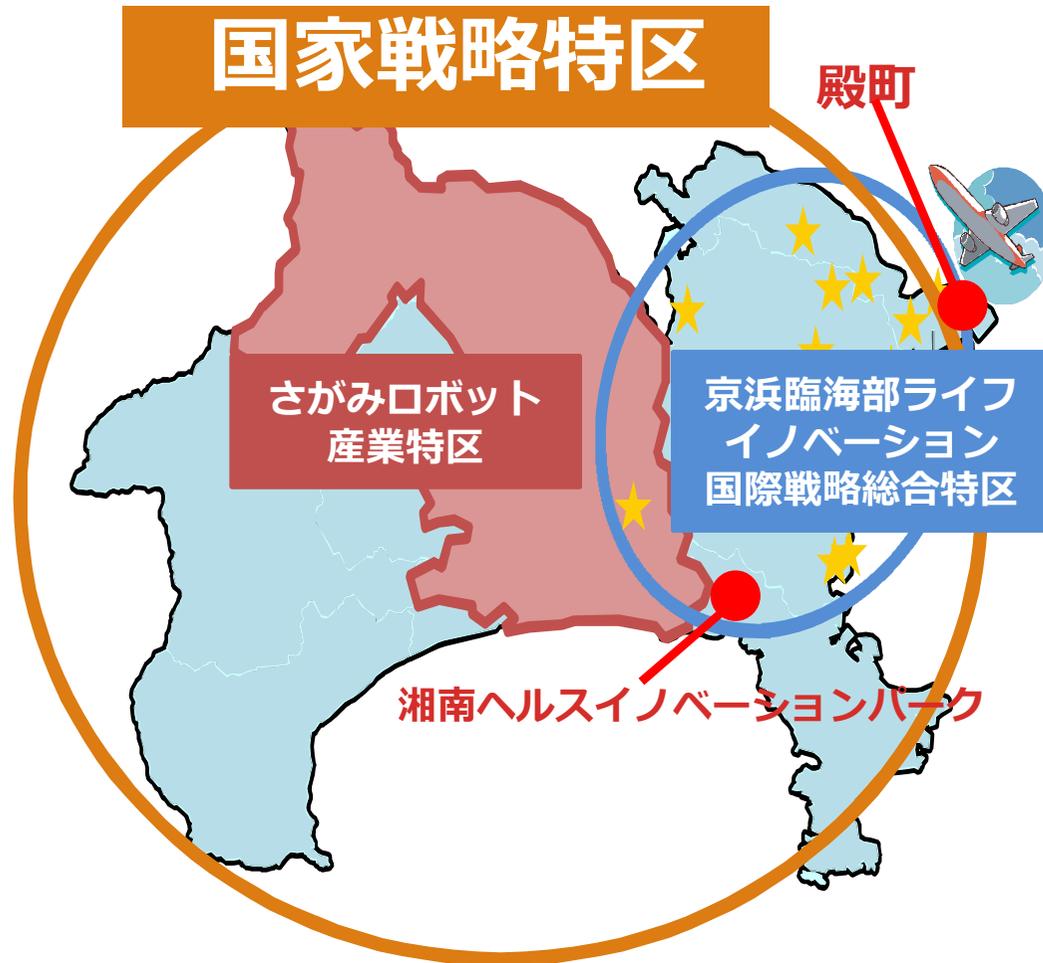
健康と病気を2つの明確に分けられる概念として捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、このすべての変化の過程を表す概念

未病の改善・・・

心身の日々の状況を確認（可視化）し、将来の自分への投資をかねて、あらゆる段階で「健康側」に少しでも近づけること

健康寿命日本一 新たな市場・産業の創出

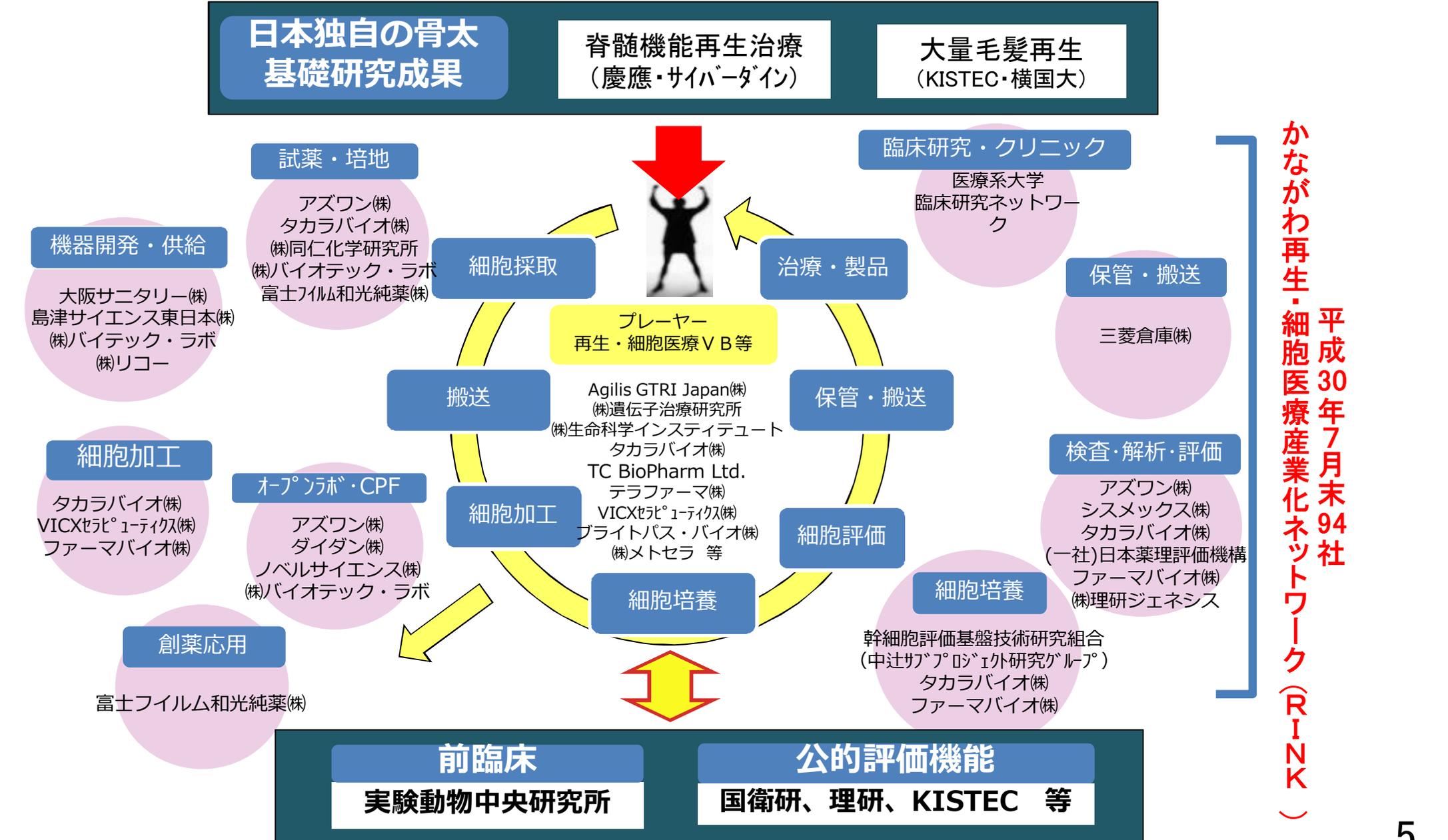
神奈川県から特区も活用
して成長産業を創出！



国家戦略特区の提案 ※下線:規制改革が実現

- 機能的食品市場の活性化
- 第I相臨床試験専門病床に係る施設基準の緩和
- 保険外併用療養に係る対象医療機関の早期拡大
- 税制(ライフイノベーションセンター入居企業等)
- 医療用ロボット市場の拡大・普及
- イノベーションを促進する知的財産制度の構築
- 再生医療分野における薬事承認の包括承認制度 等

殿町・LICを核に企業間連携により製品等の付加価値を高める仕組みを構築！



かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク(RINK)
平成30年7月末94社

神奈川県と武田薬品工業(株)が目指す連携スキーム

事業展開を発展、効果を拡大！

- ☆拠点から地域、全県へ
- ☆最先端医療分野からヘルスケアへ

⇒ベンチャー支援策の連携や共同研究の推進で、地域の産業振興や人材育成（教育）などへ貢献

平成30年4月6日
神奈川県と武田薬品工業(株)で
覚書締結
同年4月13日
湘南ヘルスイノベーションパーク開所



溝の口



かながわサイエンスパーク

殿町



湘南

ライフイノベーションセンター

神奈川県

武田薬品工業(株)



最先端医療産業の
オープンイノベーション
拠点形成

県内外から主要プレイヤーが集結！

有望ベンチャー企業

アカデミア、研究機関

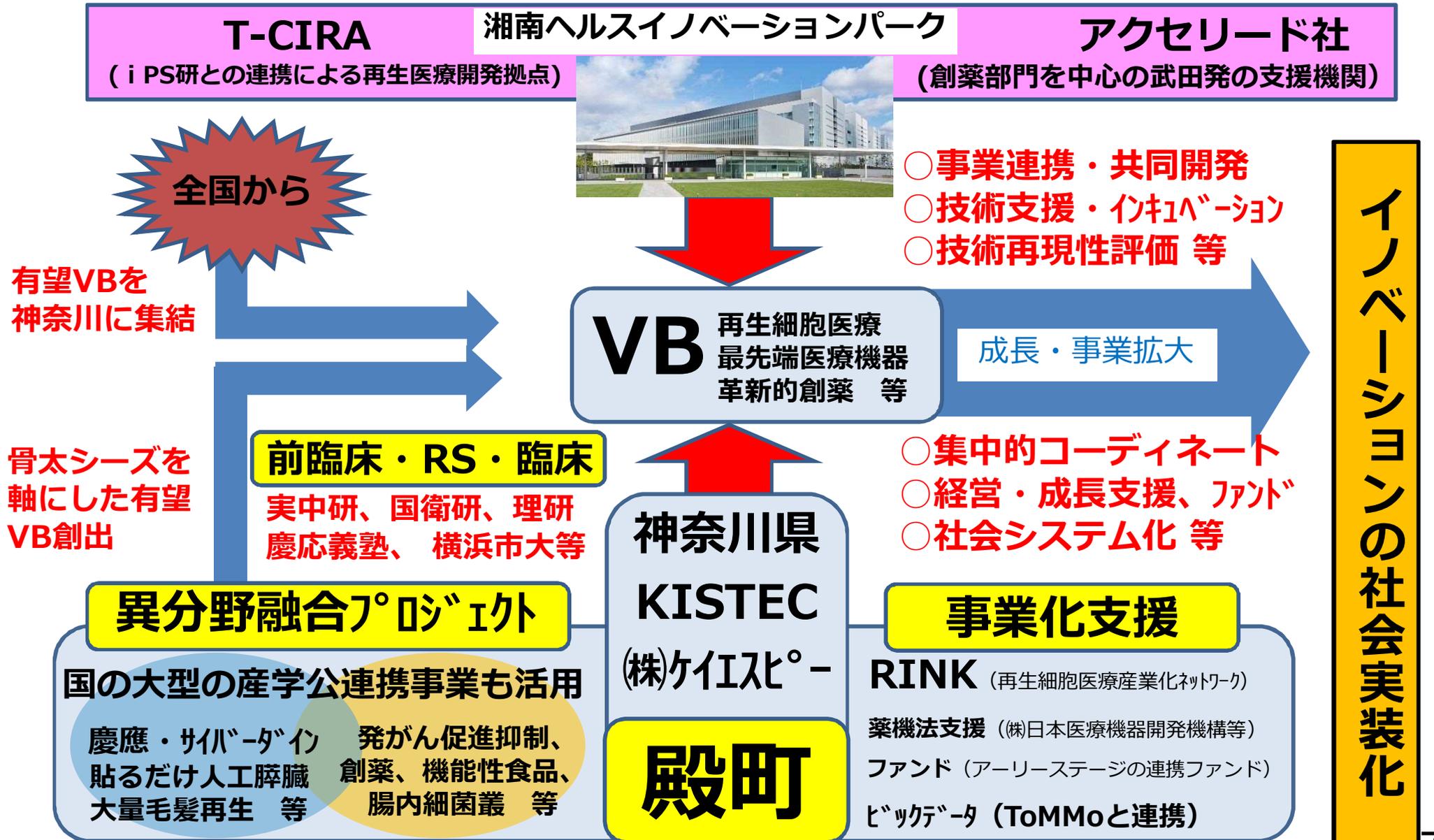
地域異業種企業

地元自治体

ヘルスケア分野の産業創出

神奈川県と武田薬品工業(株)が目指す連携スキーム

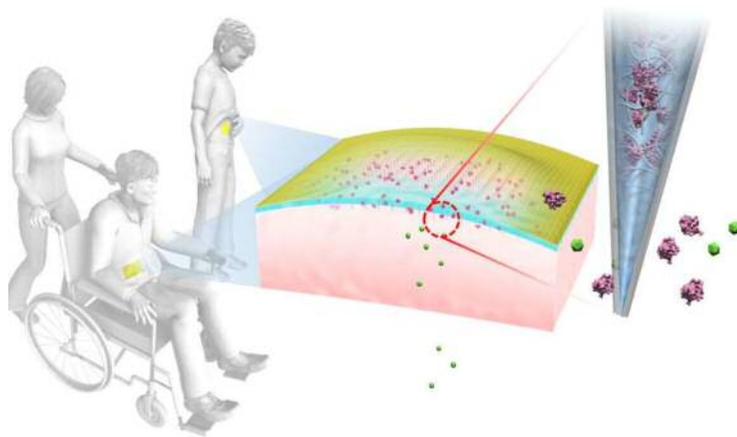
大学・企業・公的支援機関の総力を結集したイノベーション・エコシステム構築。



KISTECの広域的な産学公連携機能を活かし、優れたシーズの殿町への誘致に成功！

①貼るだけで自律型の 次世代人工膵臓の開発

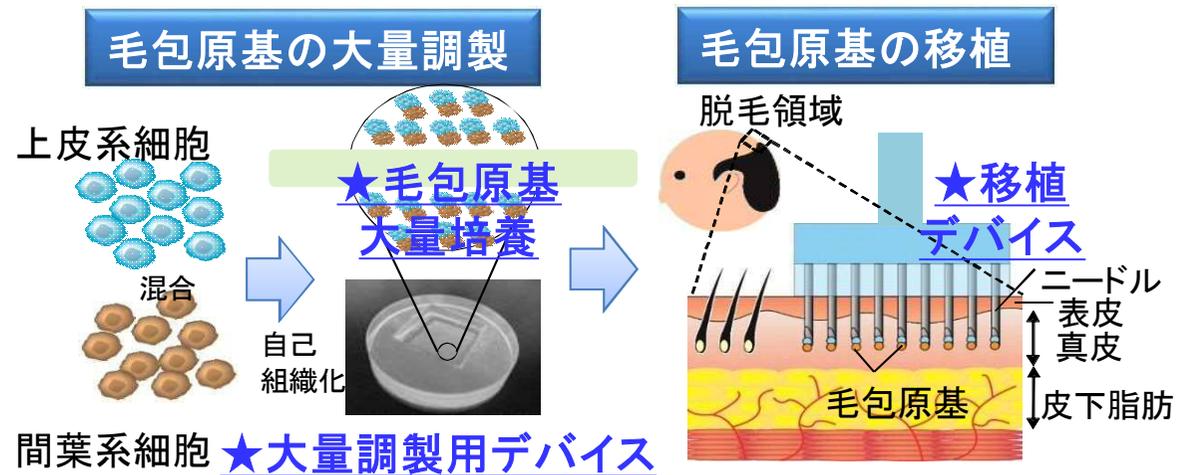
KISTEC／東京医科歯科大 松元
殿町LICに進出予定、iCONMと連携



糖尿病においてインスリン療法は重要な位置を占めるが、投与量調整、投与の煩雑さなど多くの課題が存在し、その解決が望まれている。松元らのコア技術「貼るだけ自律型次世代人工膵臓」は機械不要・一週間連続使用可能・安全安価で、糖尿病の「メットゲイクルース」（長期的な血糖管理・低血糖の回避等）を解決する。

②再生毛髪的大量調製 革新技術の開発

KISTEC／横浜国大 福田（淳）
殿町LICに進出、力触覚と連携



抗がん剤治療の副作用による脱毛や男性型脱毛症は、直接生命を脅かさないが本人のQOLに大きく影響する。福田のコア技術「再生毛髪的大量調製」は、毛包原基の大量培養を行い患者への移植を行うもので、安全性・コスト面に優れ、現治療の植毛等に変わる脱毛症の根本的な治療提供を可能とする。